

夕映え

2005 秋号 vol.6



1. 私たちは、医療人としての責任を自覚し、研修をおこたらず安全で水準の高い医療の提供に努めます。
2. 私たちは、患者さまが自立した生活を送れるよう身体機能の回復、維持、日常生活動作の改善を支援します。
3. 私たちは、「いつも笑顔で真心こめて」をモットーに、患者様の立場に立った心温まる医療を行います。
4. 私たちは、地域の人々のために、保健・福祉活動の充実に努めます。

七夕コンサートを終えて

フォレストアンサンブル部 井田 聡美

フォレストアンサンブルは、年2回のコンサートを柱に活動している音楽グループです。練習は月2回、本番前は週1回のペースで、仕事が終わってから集まって、楽しく練習しています。うまくいかないと疲れが倍になったりしますが、大きな声を出してみんなと歌うと自然と楽しくなり、疲れもどこかにいってしまいます。

7月6日の夜に、ボランティアの皆様にご協力していただき、柱の1つである七夕コンサートを無事終える事が出来ました。今回は初の試みとして2曲ではありますが“譜面を見ずに歌う”ことに挑戦しました。コンサートを始めた頃はステージに立つだけで頭の中は真っ白になり、顔は青ざめ、一瞬たりとも譜面から目を離すことなど出来ず、声を出すのが精一杯だったと記憶しています。まだ余裕など無く、つい必死に歌ってしまい「顔がこわいよー。はい、笑ってー。」と指導を受けています。まだまだ課題はありますが、少しずつは進歩しているなあと思います。“継続は力なり”です。この源になっているのは、やはり見に来て下さる患者様の温かい拍手、御声援、励ましやねぎらいの言葉です。患者様から次回の力を、そしてボランティアの皆様、病院側の協力と支援をいただきながら、今後も音楽を通して患者様との交流を続けていきたいと思ひます。



医療の現場から ～治療トピックス～

関節リウマチについて

リウマチ科医長 川上 誠



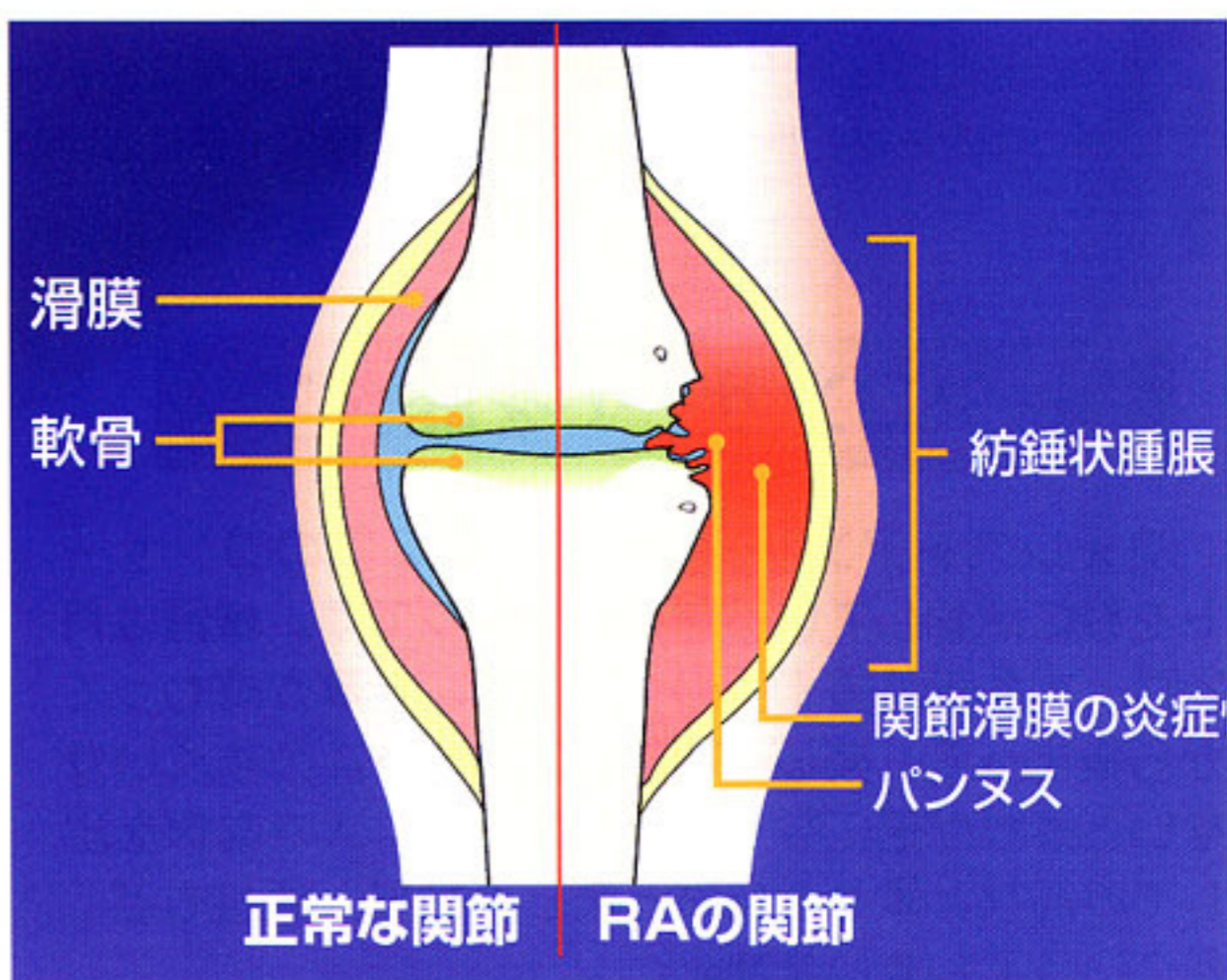
はじめまして。リウマチ科担当の川上です。私の専門はリウマチ性疾患です。リウマチ性疾患のうちで関節リウマチは、病気の経過中に整形外科的アプローチが必要となり、当病院とかがわりの深い疾患です。この病気の特徴と現在の治療について簡単に述べさせていただきます。

関節リウマチの発症原因は、時々新聞等で明らかとなった様に報道されますが、根拠となる論文の多くは病気の進展にかかわる要素（因子）を推定した論文がほとんどで、発症原因を示したものではありません。すなわち、関節リウマチの原因はいまだに不明です。しかしながら、この四半世紀の免疫学の著しい進歩とあいまって自己免疫疾患である関節リウマチの本態が少しずつ明らかとなってきています。いつの日か関節リウマチの病態がすっかり解明されることを期待したいものです。

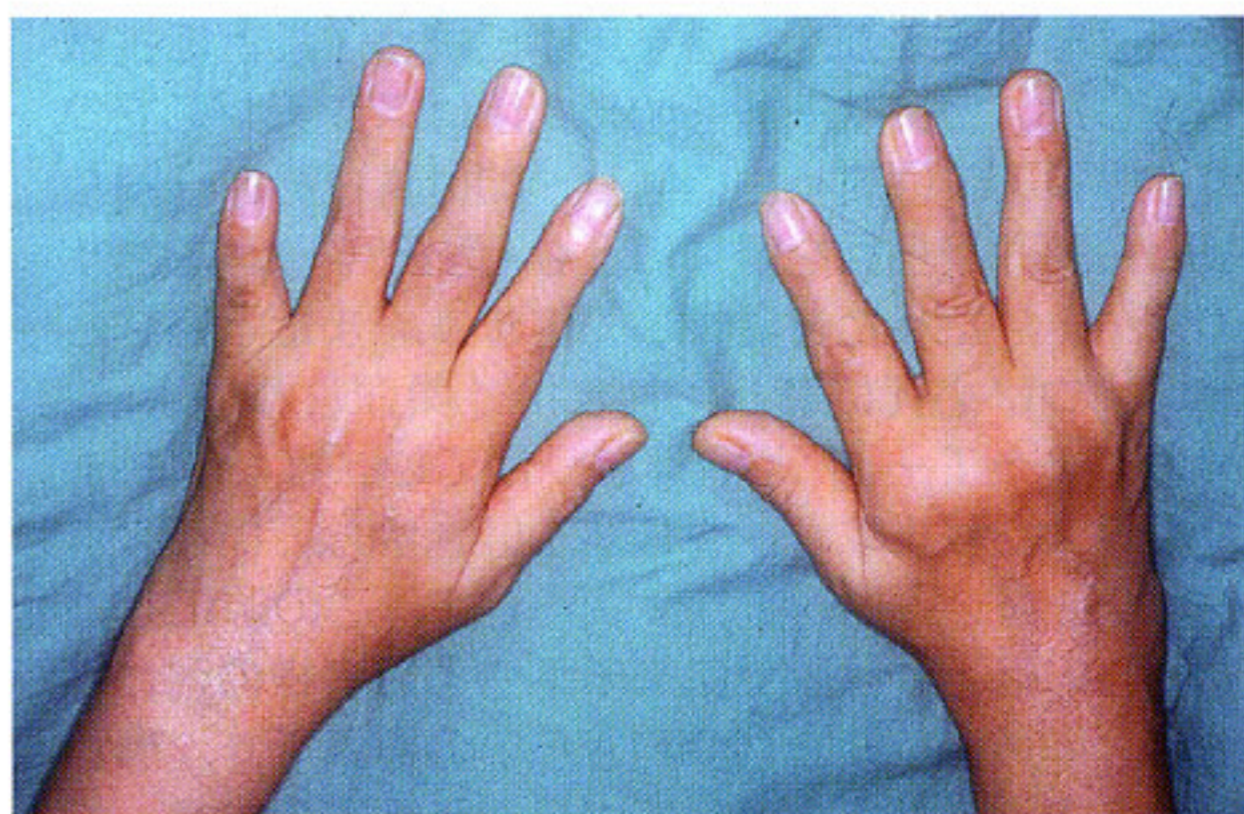
関節リウマチの人口に対する発症率はおよそ0.6%で、全国で約70万人の患者さんがいます。出産後の女性の発症が比較的多く、一般的には手、指の関節の腫れや痛みから始まり、その後膝、肘といった大きな関節の腫れや痛みが生じてきます。早めにリウマチ専門医の診断を受け、各関節の破壊、変形を予防していくことが重要です。

現在、内科的治療では、初期よりメソトレキサート（商品名：リウマトレックス）を使用していくことが重要であるとされています。この薬は効果が期待される反面、副作用の出現に対し十分に注意していく必要があります。また、最近では生物学的製剤といわれる注射薬が用いられるようになりました。免疫学的裏づけによって開発された新薬です。炎症の抑制には過去の薬剤と比べ、それ以上の強力な作用が認められています。しかし、保険適応薬剤ながら非常に高価であり、コスト面がネックです。日本では、現在2種類の生物学的製剤が発売され、両生物学的製剤を用いて約1万人の関節リウマチ患者さんが治療を受けています。

関節リウマチの治療は確実に進歩してまいりましたが、いまだ十分とは言えません。昔、「知らしむべし、知らしむべからず（患者は知らないほうが幸福である）」であった医療は、現在「知らしむべし（疾患の説明と治療への同意）」によって成り立っています。ご心配なときにはいつでもご相談ください。



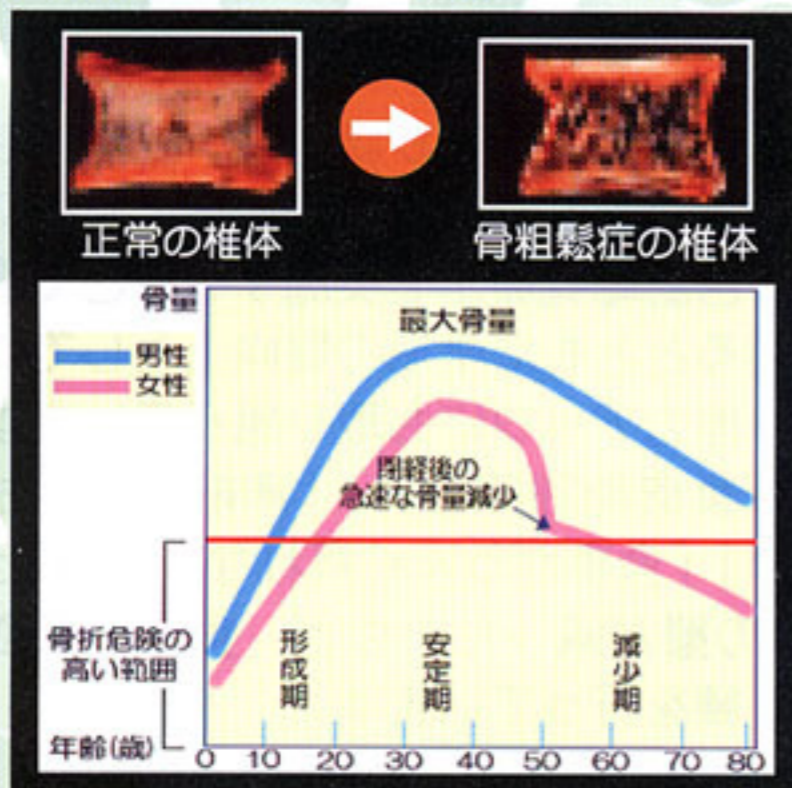
関節の破壊・変形



手・指の関節の腫れ

骨密度測定検査のご案内

ご自身の「骨」を骨折から守り、快適な生活を送るために、骨密度を一度測定されてみてはいかがでしょうか？

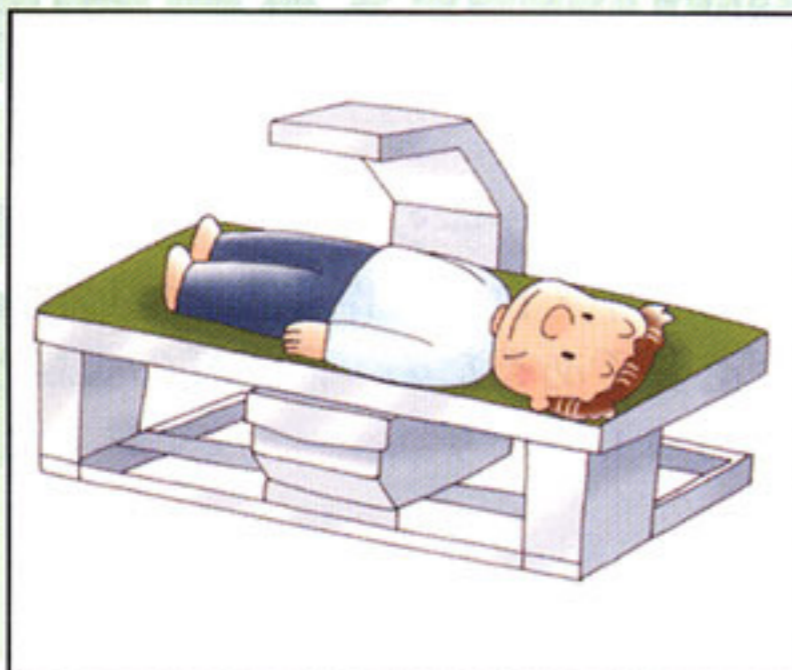


骨粗しょう症とは？

骨粗しょう症とは、骨量（骨密度）が減少し、骨がスカスカになって弱くなる病気で、容易に骨折を起こします。背骨（椎体）の骨折は腰背痛や背骨の変形の原因に、さらに大腿骨頸部骨折は寝たきりの原因となります。

特に女性は閉経後、ホルモンの関係で骨密度が男性よりも急速に減少します。

また若い女性でも、ストレスや極端なダイエット、不規則な生活によりホルモンのバランスがくずれ、骨密度が減少するケースがあります。



骨密度測定検査 (DEXA法)

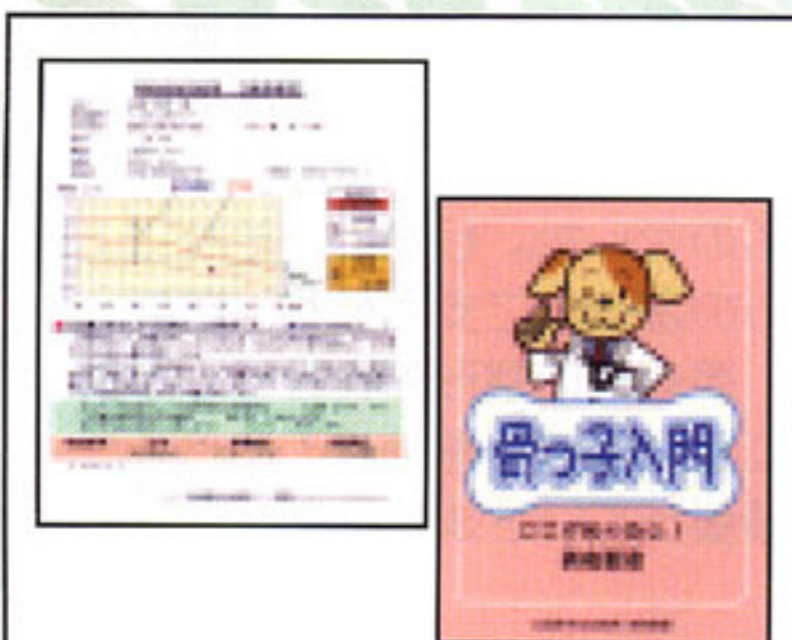
どんな検査をするの？

検査はとても簡単！

装置の上に仰向けに寝ていただきます。測定部位に弱い2種類のX線を照射して測定し、コンピューター処理を行います。現在行われている測定法では最も精度が高く、痛みや苦痛、身体への害はありません。

約15分程度で検査終了です。

当院では、診断結果と主治医のコメントを添えた測定結果用紙と骨粗しょう症についてわかりやすくまとめた小冊子「骨っ子入門」を差し上げています。



測定結果用紙 & 「骨っ子入門」

検査にかかる費用は・・・

各種健康保険	3割負担	1080円
国民健康保険	3割負担	1080円
老人健康保険	1割負担	360円

(但し、健康保険の適用にならない場合もありますので、主治医にご相談ください)

骨密度測定を希望される方は
主治医・看護師にご相談ください



言語聴覚士ってなに？

言語聴覚士とは平成9年に成立した言語聴覚士法により制定された比較的新しい医療技術職で、有資格者は平成11年から世に出ています。言語聴覚士は、SpeechTherapistの略でSTと呼ばれており、当院では現在2名のSTが言語聴覚療法・摂食機能療法等を行っています。対象はリハビリテーション科、神経内科の脳卒中、頭部外傷、神経疾患などの患者様が中心です。

しかし、当院では ずっと以前より言語療法の必要性が認識されており、制定より遡ることなんと17年前の昭和55年より言語療法士（当時）による言語療法が提供されておりました。

言語聴覚療法とは さまざまな原因で“コミュニケーション”に障害をもつ方に言語機能評価・コミュニケーション能力評価を実施し訓練を行うことです。言語の機能と一口に言っても「耳は聞こえるのに話しが通じない」「話が出来ない」「うまく声が出

ない」「発音が悪い」「字が読めない・書けない」などいろいろありますが、専門の知識・技術により評価を行い、言語聴覚療法を実施することで言語機能の改善を図るとともに生活の質向上としてコミュニケーション能力アップにも取り組んでいます。

また、摂食機能訓練とは、「病前と同じものが食べられない」「食事がうまく摂れない」「むせてしまう」「食事の量が減った」など、食事の摂取障害に対する訓練を行っています。

「食物形態はいいか」「食事姿勢はどうか」「食事環境・食器は適切か」などを評価し、口から食べることの訓練・援助を行い患者様の食のQOL改善を図っています。

さらに、コミュニケーション・摂食は患者様だけでなく会話の相手・食事を作る人・同じ食卓につく人の協力が必要であるため、患者様の訓練と同時に家族指導も行っています。（文責：土江郁子）

職員紹介



関 寿大
整形外科医員
平成16年8月1日採用

昨年8月に整形外科医員として赴任しました。島根の地に足を踏み入れて早一年が経過し、徐々に病院の雰囲気にも慣れてきたところです。鹿児島県出身であり、こちらの冬の寒さは自分にとっては厳しいものでした。しかし、それ以上にスタッフの皆様、患者様の心の温かさに支えられ、医師としての日々を送っております。患者様に整形外科医として質の高い医療を提供できるように日々鍛錬を継続していきます。

皆様のお役に立てるよう頑張っていきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

リウマチ教室開催!

肌に優しい秋風がふくこの頃、みなさまいかがお過ごしでしょうか?

さて、当院では6回目となるリウマチ教室を去る9月16日に、40名余りの方にご参加いただき開催しました。今回は県立島根女子短期大学名誉教授で、出雲弁保存会会長である藤岡大拙先生をお迎えして、「出雲の歴史と出雲弁」をテーマに、病気に効果的であるといわれている「笑い」を取り入れた講演を行いました。講演途中にはいたるところから笑い声があり、参加された皆様は一様にリラックスして楽しんでいらっしやる様子でした。

次回は「リウマチ患者の日常の食事の工夫(仮)」と称し2006年2月24日(金)に開催の予定です。皆様のご参加をお待ちしています! (文責:早水健治)



糖尿病教室について

去る平成17年9月21日に第6回目の糖尿病教室を開催いたしました。今回は消化器科部長、芦沢先生による講演に続き、栄養部長による「食事療法について」の講演、また、第5回目と同様、簡単なストレッチ体操、糖尿病食の試食コーナーを設けました。

参加者の方からは、「食事療法の継続実行のための教室が刺激になって意識向上に役立つ」「病気の進行を防ぐためにも意識付けになってよい」「運動療法の実行のきっかけとしたい」「試食がとても参考になった」などのご意見をいただきました。

次回は12月15日(木)に「糖尿病の合併症」というテーマで清水眼科(松江市)の院長先生をお招きして講演していただく予定です。多数のご参加をお待ちしています! (文責:早水健治)



小谷博信

玉造厚生年金病院 創立60周年・人工関節センター開設記念 最新医療情報セミナー「人工膝関節手術」



トーマス・バーナセック

膝の痛みのない快適な生活を!

～米国著名整形外科医 トーマス・バーナセック博士をお迎えして～

●とき

2005年10月6日(木) PM6:30開演(PM6:00開場)～PM8:30

入場無料 会場へ直接おいでください。

●ところ

松江勤労者総合福祉センター 松江テルサ

●講演

①「膝の痛みと治療方法 -よく曲がる人工膝関節をめざして-」

玉造厚生年金病院 人工関節センター長・整形外科部長 医学博士 小谷博信

②「米国における人工膝関節手術の最新情報(同時通訳)」

フロリダオーソペディックインスティテュード

サウスフロリダ大学 整形外科臨床教授 トーマス・バーナセック

※人工関節の開発者、自らも年間500例以上の人工関節手術を行っている

署名運動のご協力に対するお礼

「玉造厚生年金病院・玉造厚生年金保養ホームの公的医療・保健施設として継続・充実を願う会」の皆様が行っております署名運動につきましては、患者様をはじめとする皆様方にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

おかげをもちまして、去る4月21日に、47654名分のご署名と要望書を厚生労働大臣宛に提出することが出来ました。その際、厚生労働副大臣より、「地域の意向を充分聞いていきたい。」とのお言葉を頂戴しました。

また、島根県議会・松江市議会には、陳情書及びご署名（写）を添えて提出いたしました。両議会とも7月上旬に採択され、国に意見書を提出していただいているところです。署名はその後も継続してお寄せいただいております。現在合計約6万名分の署名をいただいております。

これもひとえに皆様方のご協力の賜物と、職員一同感謝するとともに御礼申し上げます。

平成17年9月

玉造厚生年金病院

院長 上尾 豊二



“願う会”の皆様で衛藤厚生労働副大臣に署名と“要望書”を提出しました。（東京厚生労働省にて）



玉城会（患者様やその家族の皆様方の会）の皆様も署名活動をしていただき、先日代表の方から7600名余の署名を届けていただきありがとうございました。

表紙の写真

病院の開院50周年を記念して植えられた「泰山木」です。毎年6月頃に大輪の見事な花をつけます。花言葉は「壮麗」です。まるで大きく手を広げ私たちに包み込んでくれるような包容力のある花です。星野富弘さんの絵にも見事に描かれていますが、空に向かって大きく花びらを広げ、永遠を見つめているようです。（F. S）

編集後記

早いもので今年もあと3ヶ月足らずとなりました。夏休みが終わり、子供達が優しい秋風とたわむれながら気持ち良さそうに遊んでいる光景を目にします。まだ日中はやや暑いと感じる日もありますが、朝晩の涼しさに体調を崩さないように元気にこの秋をお過ごしください。

さて、今回の「夕映え」はいかがでしたでしょうか？より良い広報誌となるよう皆様からのご意見・ご感想をお寄せください。お待ちしております。（K. M）

■ 編集・発行責任者 上尾 豊二

〒699-0293 島根県松江市玉湯町湯町1-2

TEL 0852 (62) 1560

<http://fish.miracle.ne.jp/tamahosp/>

夕映えのバックナンバーはホームページでもご覧になれます。